

病院整備計画の変更概要書

1 医療機関の名称・所在地・所在二次保健医療圏

医療法人道心会 埼玉東部循環器病院

埼玉県越谷市大沢 3 1 8 7 - 1 （東部医療圏）

2 開設者の名称・所在地

医療法人 道心会

埼玉県越谷市大沢 3 1 8 7 - 1

3 医療機関の現状

病床数

病床機能区分	病床種別	許可病床数	稼働病床数	非稼働病床数
急性期	一般	3 6	3 6	
高度急性期	一般	4	4	
計		4 0	4 0	

4 整備する病床の機能・数

【変更前】 整備計画病床 1 2 床

病床機能区分*1	医療機能*2	病床種別	入院基本料 特定入院料	病床数
急性期	心血管疾患	一般	急性期一般入院基本料 1	2
高度急性期	心血管疾患	一般	特定集中治療管理料 5	2
高度急性期	心血管疾患	一般	ハイケアユニット 入院医療管理料 1	8
計	—	—	—	1 2

*1 高度急性期、急性期、回復期、慢性期のいずれかの病床機能を記載

*2 がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療、周産期医療、在宅医療など整備する病床が担う医療機能を記載

【変更後】 整備計画病床 1 2 床

病床機能区分*1	医療機能*2	病床種別	入院基本料 特定入院料	病床数
急性期	心血管疾患	一般	急性期一般入院基本料 1	6
高度急性期	心血管疾患	一般	特定集中治療管理料 5	6
計	—	—	—	1 2

*1 高度急性期、急性期、回復期、慢性期のいずれかの病床機能を記載

*2 がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療、周産期医療、在宅医療など整備する病床が担う医療機能を記載

5 スケジュール変更

【変更前】

No.	項 目	計画年月	備 考
1	開設（変更）許可（医療法）	R 6 年 8 月	
2	建築（着工）	R 6 年 1 0 月	
3	建築（竣工）	R 7 年 8 月	
4	医療従事者の確保	R 6 年 1 2 月	
5	使用許可（医療法）	R 7 年 8 月	
6	開設（増床）	R 7 年 9 月	

【変更後】

No.	項 目	計画年月	備 考
1	開設（変更）許可（医療法）	R 6 年 8 月	
2	建築（着工）	R 6 年 1 0 月	
3	建築（竣工）	R 7 年 1 0 月	7 月一部完了
4	医療従事者の確保	R 7 年 2 月	完了
5	使用許可（医療法）	R 7 年 8 月	
6	開設（増床）	R 7 年 1 1 月	I C U のみ 8 月

6 スケジュール変更等の理由

《開設予定遅延について（9 月予定→11 月予定）》

工事を着手するにあたって、予定外の配管工事・消防設備増設や一部停電作業が必要となったため、病院運営をしながら進める必要があり、安全確保や患者配慮の関係で工事時期を変更せざる負えない状況となりました。

当初の予定よりも資材の高騰、医療機器などの納品時期が遅れたことにより工期遅延となりましたが、年内には稼働を開始できる予定です。

《機能変更について》

・【救急受入態勢への必要性】

病院として昨年の I C U 満床での受け入れ困難事案の発生や手術件数の増加により、高度急性期においてどのように対応するか課題として認識しておりました。

そこで、病院では H C U 病床より、I C U 病床の体制を万全に期すことが医療圏の当院の役割として必要ではないかと判断しました。

・【安定的な運営をするための人員配置】

施設基準上 I C U 病床と H C U 病床は別部門であり、それぞれに人員を配置する必要性がありました。

具体的には、看護師を 1.5 倍ほどの人数を確保する必要があること、医師の確保についても働き方改革による勤務時間の見直しから、常勤医師を 2 4 時間体制で維持をすることへの懸念がありました。

・【安全な医療の提供】

ベッドの数的な問題は高度急性期区分のフロアの 1 ベッド辺りの有効スペース及び、安全に医療を提供するための動線確保が不十分であると認識し、H C U 8 病床・I C U 4 病床の計 1 2 病床ではこれらの課題を解決するのは難しいと判断しました。

そこで、I C U 病床 1 0 床とし、より高度急性期に対応可能な設備を整えていくことが重要ではないかとの考えに至った次第です。

対応としては、I C U病床には感染症対応可能な個室を完備するとともにコラムシステムプルゴを導入することで多くの医療機器などを必要とする重症患者に対しても有効スペースを確保するなど対応に注力します。

また、H C U病床を当初計画した背景に増加する高齢者の慢性心不全患者の受け入れをする際のベッドとしてとらえていましたが、今現在も一般病床で受け入れていること、重症化した際にはI C U病床の装備を使い診療できることから、今回の変更にあたり支障はないと考えています。

地域の心血管疾患専門病院として今後も地域医療に貢献できるよう、日々医療に取り組んで参る所存です。